

市議会議員小池みよ子の ひたすら鹿嶋のために

活動報告 Vol.15

小池みよ子
後援会会報 vol.15【発行】
小池みよ子後援会
〒314-0034 鹿嶋市鉢形1493-2
TEL 0299-83-5252
携帯電話: 090-1690-0136所属委員会 総務生活委員会委員長 / 議会運営委員会 /
議会改革検討協議会 / 鹿行広域事務組合議会

議会報告 平成27年度9月市議会 一般質問

議員として、私の思いを込めた一般質問です。

最愛の
ポーズです

4月の改選で若い議員さん達が一気に6人増え、何と私は3期目にして席番が13番。長老(?)的存在になってしまいました。女性議員も増え4人になりました。画期的な数字です。女性の感性を活かし市政運営に女性目線で切り込みます。国の内外で起こる様々な事件や状況、かたや市内でも様々な問題が山積みです。その一つ一つに真摯に向き合います。今回も身近なテーマに目を向けて質問に立たせていただきました。

「ひたすら鹿嶋の為に」「住んで良かった鹿嶋、住むなら鹿嶋」を目指して努力します。

皆様の思いがどの程度反映されているか読んでみてください。ご意見もお寄せください。

質問 1、公共交通体制について

Q1 鹿嶋市の公共交通体制の現状と課題について

コミュニティバスと高齢者のためのタクシー初乗り運賃の補助券の支給があるのは広く市民の知るところです。さてこれで十分でしょうか。バスについては年間51,812人の利用でバス会社には年間2,000万円の補助が。一方タクシーの初乗り運賃助成は、昨年実績では、2,081人が利用でその金額は1,899万円。申請者の40%が利用しての金額です。これは26年度の数字で現在は既に昨年実績を上回っていると聞きました。このままでいくと支え切れないのではないかと考えますが、現状と課題についてお聞かせ下さい。タクシーの初乗り運賃の補助では公共交通体制とは言い切れません。単なる高齢者の移動手段で、高齢福祉の一つでしかないと考えますが、公共交通をどのように考えているのか、市のご見解をお聞かせ下さい。

A1-1 健康福祉部長

タクシー初乗り運賃助成事業は、平成25年7月に開始したもので、運転免許がなく外出に困難な70歳以上の高齢者を対象とし、一月当たり2回のタクシー初乗り料金相当額をタクシー利用券として助成しているものです。利用券の申請は平成25年度7月から3月の9カ月間で1,474人、平成26年度は2,081人、平成27年度4月から7月の4カ月間で2,158人です。コミュニティバス事業は、広く定着して利用者の方も年々増加傾向にあり、高齢者の外出支援に一定の役割をはたしていると判断しており、今後もよりよい外出支援策について研究をしてみたいと考えております。

A1-2 錦織市長

公共交通の考え方についてお答えいたします。タクシー補助は高齢者福祉施策の一環として位置づけている事業であり、議員同様、私も公共交通とは捉えておりません。市においては現在鹿嶋コミュニティバスの運行に対して補助金を支出し、1乗車300円という低料金で市民の皆さんに利用いただいている状況であります。

Q1-2 タクシーの利用率が上って、現在は54.4%。仮にこれが100%になったときに、市はどのような対策、手段を持っているのかお聞かせ願えればと思います。

A1-3 健康福祉部長

急激に増加するとは想定しておりません。若干ずつは増加していくと思いますが急激な増加はないと考えています。

要望 急激な増加はないと言いますが、考えがちょっと甘いような気がします。急激に増加すると見込んだ施策を立てていただきたいと思います。

Q2 ドア・ツー・ドアの乗り合いタクシー導入はどこまで調査研究されているのかお尋ねします。

これからの高齢化社会に向けて、ドア・ツー・ドアの乗り合いタクシーの導入に具体的な行動を起こすべき時期なのではと考えます。医療機関ももちろんそうですが、この足の問題は、まちづくりの根幹にかかわること、大きな問題であると考えます。タクシー利用の補助金額が既に2,000万円を超えている現状、そして団塊の世代が交通弱者になっていく今、前向きにその対策について、10年先、20年先を見込んで考えていってほしいと思います。アイデアは公共交通を考える会の仲間と既に何度か提案しているつもりです。市長の公約の一つでもあるこの乗り合いタクシーの導入について、どこまで進んでいるのかを教えてくださいたいと思います。

A2-1 政策企画部長

乗り合いタクシーにつきまして、その事業を単独に進めるということではなく、あくまでも本市の公共交通政策全体の中で調整しなければならぬことをご理解いただきたいと思います。「鹿嶋市地域公共交通会議」におきまして市の公共交通体系のあり方を協議して頂き、一定の方向性を示していただいた上で、既に取り組んでおりますタクシー初乗り運賃助成事業とあわせ総合的に判断してまいりたいと考えております。



↓ ウラ面に続きます。

Q₂₋₂ コミュニティバス、そのほかの公共交通機関との共存共栄については十分理解し、スタートさせることは大変な事も理解しております。でも、ここでやらなければ本当におくれてしまいます。茨城県内の21の市町村で既にデマンドタクシー、ドア・ツー・ドアの公共交通体系がスタートしております。先行自治体があるのですから、いいところはまねて市政に生かしていくのが行政なのではと思うのですが、その辺のところ、もう一度答弁お願いできますか。

A₂₋₂ 政策企画部長

既に取り組んでいるタクシー初乗り運賃助成事業とあわせ、乗り合いタクシーを含む様々な内容について調査研究を行い、本市ならではの公共交通体系の確立に努めてまいりたいと考えています。

Q₃ 調査研究とおっしゃいますが、今後の見通しについて具体的なプランあればお聞かせ頂きたいのです。

A₃ 錦織市長

車座懇談会の中でもデマンド交通の導入について強く要望を受けております。今年度中には一定の考え方の整理をしてまいりたいと考えております。

質問2、教育行政について

Q₁ 学区見直しのその後の進み具合は

平成25年6月、平成26年3月議会で学区の見直しについて提案及び質問をし、その時の答弁では「見直しをします」と回答をいただきました。委員会を立ち上げ、検討に入りますと聞きましたが、その後どうなっているのかお聞かせ下さい。

A₁ 教育委員会事務局部長

8月27日に第1回「鹿嶋市小中学校通学区区域再編成検討委員会」を開催したところです。今後、現状の課題解決を図りながら通学区の見直しを検討し、素案のまとめには慎重かつ丁寧な検討が必要で、2、3年の期間を想定しています。その後、素案をもとにしたの地区懇談会やパブリックコメントでの意見聴取を行い決定していきます。

Q₁₋₂ 最初に提案してから2年かけて初めて準備会議がと思うと、余りにも遅すぎると思うのですが、いかがでしょうか。くれぐれもお願いしておきますが、区は決して2つに分けないでほしいと思っております。非常に難しい問題なので、本当に慎重に時間をかけて-といっても2、3年かけて討議して、その後また何年かけて実行ということなので、もうちょっとスピーディーに事を進めていただきたいと思います。

A₁₋₂ 教育委員会事務局部長

可能な限り早期にはと考えておりますが、行政区の整理なども並行して進め、課題となっている地域の現地調査なり、ヒアリングなどもあわせて行うことを想定して少し時間はかかりますが、ご理解をいただきたい。

Q₂ 夏休み及び春休みの変更について

鹿嶋には祭頭祭と提灯まちという大きな祭りがあります。子供たちの鹿嶋の伝統行事への参加と捉え、鹿嶋の町おこしの一環として、また郷土愛への一つの機会と捉えて参加させたいのですが、春休み、夏休みを一日ずつずらして3月9日と9月1日を鹿嶋の日(仮称)として休みにしてはいかがでしょうか。教育委員会のお考えをお聞かせ下さい。

A₂ 教育長

議員ご提案のとおり、地域の祭りへの参加並びに見学などは、自分の住む地域の歴史、伝統文化を理解し、継承していく上で非常に大切なことと認識して、今後の動向など多面的な観点から研究、検討してまいりたいと考えております。



質問3、海軍航空隊の慰霊について

Q₁ 慰霊祭が平成27年をもって終了すること、このままでよいのか

主催者の高齢化および後継者不足のため、3月21日をもって終了と聞きこれで良いのかと疑問を持ち今日の質問となりました。鹿嶋で訓練を受けた総勢829人の若い兵士が日本を守るために帰らぬ人となった、この尊い命の上に成り立っている今日の日本です。残された私たちは、平和の尊さと命の大切さ、そして戦争の悲惨さを語り継ぐ上においても、この慰霊祭は実施していくべきと考えます。23年間ボランティアで続けてきた大勢の有志の思いを引き継ぐためにも、何らかの方法で慰霊を続けるべきだと思うのですが、市のご意見をお聞かせ下さい。

A₁ 錦織市長

市としては、全ての戦没者を哀悼する鹿嶋市戦没者追悼式を主催しておりますので、現時点でこの慰霊祭だけを引き継ぐことは大変難しいと感じています。恒久平和の理念を継承していくことは大切と認識しております。関係者や関係機関とも協力して、史実の伝承には努めてまいりたいと考えております。

Q₂ 22歳前後の若者がここで苦しい訓練を受けて、日本を守るために飛び立っていったということは決して風化させてはいけないと思います。平和を守るために子どもたちに語り継いで、桜花公園のなりたち、そのいわれなどを子供たちに授業の中で話していただけるような教育をちょっとだけ踏み込んでいただければ有難いことです。

A₂ 教育長

戦争の悲惨さ、その他について、子供たちにきちっと指導していくことは極めて重要でございます。出来る限り伝承できるように努めてまいります。

あなたの声を大切に！ 何時でも、何処でも私に声をかけてください。みなさまの“声”をお待ちいたしております。

ブログも覗いてみてください。

小池みよ子の思い 検索

皆さまのご意見もお気軽に
お寄せください

<http://plaza.rakuten.co.jp/hatigata/>



震災で落ちた橋がやっと架かります。